

【提出様式】 令和7年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立

西巢鴨

幼稚園

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
	8	7	6

領域	豊島区教育ビジョン 2025 基本方針等	評価番号	評価項目	年間評価																学校関係者による評価		次年度に向けた改善策				
				児童・生徒				保護者				地域				教職員				自己評価概要	学校関係者評価の意見		標語			
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3					2	1	
II	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	II-1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。						7	1	0	0	0	5	1	0	0	0	7	0	0	0	今年度は、巣鴨北中学校との授業交流、西巢鴨中学校の職場体験受入と連携を拡大できました。小学校とは全学年、保育園との交流活動の回数も増やすことができました。	・評価は妥当である。学校だけでなく、区民ひろばとの交流「敬老の集い」も毎年継続している実績がある。	A	・「菊かほる園」との交流を新規に立ち上げたいが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし
I	学びに向かう力の育成	I-1	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。	児童・生徒を対象としたアンケート集計表をご参照ください。	8	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	1	0	0	保護者アンケートから全園児が幼稚園に行くことを楽しみにしているとの結果が得られました。タブレットの貸与されていないので、園児が直接ICT機器を操作して活動することはできませんが、園外行事などの事前指導、懇談会等での園生活の紹介などでICT機器を効果的に活用してきました。	・評価は妥当である。子ども会などの園行事に加え、日常の「遊びの広がり」が見られる。子供たちが自由に遊べる「場づくり」ができています。	A	・ICT機器の活用頻度を上げたかったが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし				
		I-2	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。		7	1	0	0	0	6	0	0	0	0	4	3	0	0	日常の保育活動で、友達と協力して当番活動をしたり、遊びを工夫したりする中でよさを認め合っている生活ができています。栽培活動では、植物が日々伸びていく様子に喜びを感じ、飼育では日々のカメのお世話当番や幼虫・さなぎから蝶やトンボを育てる活動を通して命を大切に育てる心を醸成してきています。	・評価は妥当である。季節により、栽培活動を工夫し、生命を大切に育てる取組が行われている。その中で自然を大切にする心や道徳心が培われている。	A	・栽培活動の継続とゲストティーチャーを招いての園庭散策を行いたい、次年度は4歳、5歳児とも学級編制なし				
	豊かな心と人間関係の育成	I-3	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をとおして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。		8	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6	1	0	0	毎日、好きな遊びの中で園庭やホールで体を動かす遊びを行っています。宝とリゲームでは、宝を取る身のこなしが速くなったり、捕まらないように身をかわしたり、縄跳びでは、跳ぶ回数や跳び方の種類が増えてきていることから体力の向上を実感できました。食育では、園で収穫した野菜をアレルギーを考慮して調理し、野菜を食する機会を設定してきました。	・評価は妥当である。元気に挨拶ができるので健康的である。栽培活動で育てた野菜などを食べることで食育への興味関心を養っている。	A	・体づくりのためのレパトリーを増やして園児に提供したかったが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし				
		I-4	学校は、生命を大切に育てる態度や思いやり、優しい心を育てている。		7	1	0	0	0	4	2	0	0	0	6	1	0	0	通常保育の中で、非を認め素直に謝る姿が見られています。トラブルの解決の仕方を教員が一人一人に声をかけ、指導することを心がけてきました。子どもが互いのよさや性格の違いを理解し、友達を大切にすることができています。また、未就園児と毎週1回かかわることができているので、年下の子供たちをいたわり、やさしく接する気持ちが自然と醸成されてきていると感じました。	・評価は妥当である。発達段階に応じた指導がなされている。年少も組の様子と比べると、とても心身ともにたくましくなっている。友達とも良い関係を築けていると感じた。	A	・当番活動や行事の役割分担の継続により、責任感と達成感を醸成したかったが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし				
	健やかな生活を送るための体力づくり	I-5	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。		7	1	0	0	0	4	2	0	0	0	7	0	0	0	園児の欠席も少なく、医療機関に搬送する事故もなく過ごしています。登園時、降園時に保護者と直接話す機会があるので、その都度要望等についてお聞きし、改善を図るようにしてきました。	・評価は妥当である。登園時、降園時に子どもの様子をよく教えてくれるので安心して居る。欠席が少ないのがとても良い。	A	・保護者、地域の教育力を保育活動に生かす活動を工夫したかったが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし				
		I-6	学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。		0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	7	0	0	0	毎月の園だよりと月2回発行するクラスだよりで年長ほしぐみの様子を伝えることができました。ホームページについては、今年度は長期休業日・週休日を除き毎日更新いたしました。行事等でご協力いただく際には、その都度お知らせを配布してお願いしました。	・評価は妥当である。クラス作り、園だより、ホームページで園での生活をよく発信してくれている。	A	・ホームページの毎日更新は継続したいが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし				
III	多様な子どもに対する支援の充実	III-1	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。	7	1	0	0	0	2	3	0	0	1	7	0	0	0	保育園とは「すくわくプログラム」を活用して推進してきました。小学校とは、行事や特別活動、生活科等の学習で直接児童とかわる実践ができました。中学校3年生の家庭科の学習に参加することができました。	・評価は妥当である。様々な学校種の幼児・児童・生徒との交流は子供たちにとって良い経験になっている。	A	・身体表現運動と保幼小の交流活動を継続したいが、次年度は4歳児、5歳児とも学級編制なし					
		III-2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。	7	1	0	0	0	4	2	0	0	0	7	0	0	0	各教職員が責任をもって校務分掌に従事するとともに、情報共有を常とし、校務パソコンなども活用し、効果的に業務を処理することができています。	・評価は妥当である。先生方がチームワークよく子供たちに向き合ってくれている。行事などを参観して感動した。	A	・次年度は教職員の配置なし					
		III-3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。	7	1	0	0	0	4	2	0	0	0	7	0	0	0									
V	教師力の向上と魅力ある学校づくり	V-1	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。	8	0	0	0	0	5	1	0	0	0	7	0	0	0									
		V-2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。	7	1	0	0	0	5	1	0	0	0	6	1	0	0									
	家庭・地域との連携	V-3	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。	7	1	0	0	0	5	1	0	0	0	7	0	0	0									
		V-4	学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。	8	0	0	0	0	5	1	0	0	0	7	0	0	0									
特色ある教育活動	V-6	学校は、連携交流活動(保育園・小学校・中学校)への取り組みに関する教育を推進している。	7	1	0	0	0	5	1	0	0	0	6	1	0	0										
IV	働き方改革	IV-1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。											7	0	0	0									

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある